



あかしや通信

令和8年10月23日
京都市立朱雀第四小学校
校長 岡西 容美
臨時号

平素は、本校あかしや教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。7月に実施いたしました「第1回学校評価アンケート～子どもたちの育ちを支える学校アンケート～」の結果についてお知らせします。今回の結果から見えてきた成果や課題については、全職員で共通理解し、良い部分は伸ばし、課題については改善していきたいと考えております。保護者の皆様には、引き続き本校あかしや教育にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

学校評価アンケート～子どもたちの育ちを支える学校アンケート～とは…

子どもたちの健やかな育成を目指し、学校教育活動・家庭・地域活動を通して、それぞれの立場から自らを振り返るものとして京都市で進められてきており、児童、保護者、教職員とで年に2回実施しています。自らを振り返ることができるようにアンケート項目を設定し、「教職員は自らの教育活動や指導を振り返る」「保護者は自らの家庭教育を振り返る」「子どもたちは、自らの学習や活動に向かう学びの姿勢を振り返る」ことを通じて、お互いに高め合い、子どものよりよい成長につなげていけるようにと考えて取組を進めています。

よくできている だいたいできている あまりできていない できていない

【確かな学力】

児童：授業の「めあて」にそって学習し、「ふりかえり」で自分の考えたいことや学習したことを書いている。 保護者：わが子は学習に対して、最後まで粘り強く取り組みようとしている。 教職員：子どもが主体的に学習できるように、単元計画や支援の工夫をしている。	主体的に学習に向かう姿 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>だいたいできている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>95%</td><td>5%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>85%</td><td>15%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95%</td><td>5%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr></table>	対象	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	児童	95%	5%	0%	0%	保護者	85%	15%	0%	0%	教職員	95%	5%	0%	0%
対象	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない																	
児童	95%	5%	0%	0%																	
保護者	85%	15%	0%	0%																	
教職員	95%	5%	0%	0%																	
児童：友達の話をしっかり聞いたり、自分の考えを相手に伝えたりしている。 保護者：わが子に相手の話をしっかり聞いたり、自分の考えを相手に伝えたりするよう働きかけている。 教職員：学習の中で、自分の思いや考えを相手に伝えられるよう授業を工夫している。	話を聞く、考えを伝える姿 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>だいたいできている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>95%</td><td>5%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>85%</td><td>15%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr></table>	対象	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	児童	95%	5%	0%	0%	保護者	85%	15%	0%	0%	教職員	100%	0%	0%	0%
対象	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない																	
児童	95%	5%	0%	0%																	
保護者	85%	15%	0%	0%																	
教職員	100%	0%	0%	0%																	
児童：学習や学校生活の中で、よりよい自分になるために考えて行動している。 保護者：家庭では、自分でできることは自分でするように働きかけている。 教職員：子どもが学校生活の中で、自ら考えて行動できるよう工夫や支援をしている。	自分から行動する姿 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>だいたいできている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>90%</td><td>10%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>85%</td><td>15%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>90%</td><td>10%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr></table>	対象	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	児童	90%	10%	0%	0%	保護者	85%	15%	0%	0%	教職員	90%	10%	0%	0%
対象	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない																	
児童	90%	10%	0%	0%																	
保護者	85%	15%	0%	0%																	
教職員	90%	10%	0%	0%																	

児童：宿題や自主学習など進んで家庭学習に取り組んでいる。 保護者：わが子は宿題や自主学習など進んで家庭学習に取り組んでいる。 教職員：子どもに家庭学習の習慣がつくように、宿題や自主学習の内容や取り組み方を工夫している。	家庭学習に取り組む姿 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	割合	児童	92%	保護者	85%	教職員	80%
対象	割合								
児童	92%								
保護者	85%								
教職員	80%								
児童：学校や家で進んで読書をしている。 保護者：家庭では、わが子が本に親しむことができるように働きかけている。 教職員：子どもに読書の習慣がつくように、読書ノートの活用をするなど働きかけを行っている。	読書に取り組む姿 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	割合	児童	82%	保護者	55%	教職員	85%
対象	割合								
児童	82%								
保護者	55%								
教職員	85%								

【豊かな心】

児童：自分からすすんで気持ちのよいあいさつをしている。 保護者：わが子は自分から進んであいさつをしている。 教職員：子どもが自分から気持ちのよい挨拶ができるよう、自らも意識して挨拶をしている。	あいさつをする姿 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>68%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	割合	児童	90%	保護者	68%	教職員	100%
対象	割合								
児童	90%								
保護者	68%								
教職員	100%								
児童：友達の気持ちを考え、やさしく接している。 保護者：わが子は相手のことを思いやり、大切にしている。 教職員：自分も友達も大切にできるように、全教育活動を通して人権を意識した取組を行っている。	友達を思いやる姿 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	割合	児童	98%	保護者	95%	教職員	100%
対象	割合								
児童	98%								
保護者	95%								
教職員	100%								
保護者：家庭では、わが子のよさを認め、伝えるようにしている。 教職員：発達支持的生徒指導に努め、子どものよさを認め、伝えるようにしている。	よさを認め、伝えることについて <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	割合	保護者	90%	教職員	100%		
対象	割合								
保護者	90%								
教職員	100%								

よくできている

 だいたいできている

 あまりできていない

 できていない

児童：毎日楽しく学校に通っている。 保護者：わが子は、毎日楽しく学校に通っている。 教職員：子どもが毎日楽しく学校に通えるように授業の工夫、生徒指導、人権教育の充実を心掛けている。	学校に楽しく通う姿 <table><tr><td>児童</td><td>62%</td><td>35%</td><td>3%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>48%</td><td>42%</td><td>10%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>40%</td><td>55%</td><td>5%</td></tr></table>	児童	62%	35%	3%	保護者	48%	42%	10%	教職員	40%	55%	5%
児童	62%	35%	3%										
保護者	48%	42%	10%										
教職員	40%	55%	5%										
児童：学校や家でのルールを守って生活している。 保護者：家庭では、学校のきまりや家でのルールを守るよう働きかけている。 教職員：子どもが自分ごととして学校のルールを守ることができるように指導している。	きまりやルールを守る姿 <table><tr><td>児童</td><td>50%</td><td>45%</td><td>5%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>35%</td><td>55%</td><td>10%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>42%</td><td>53%</td><td>5%</td></tr></table>	児童	50%	45%	5%	保護者	35%	55%	10%	教職員	42%	53%	5%
児童	50%	45%	5%										
保護者	35%	55%	10%										
教職員	42%	53%	5%										
児童：話す相手や場面に合った話し方をしている。 保護者：家庭では、相手や場面に合った話し方ができるように働きかけている。 教職員：子どもが、話す相手や場面に合った話し方ができるように意識して指導している。	話す相手や場面に合わせて話す姿 <table><tr><td>児童</td><td>55%</td><td>35%</td><td>10%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>15%</td><td>65%</td><td>20%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>28%</td><td>68%</td><td>4%</td></tr></table>	児童	55%	35%	10%	保護者	15%	65%	20%	教職員	28%	68%	4%
児童	55%	35%	10%										
保護者	15%	65%	20%										
教職員	28%	68%	4%										

【健やかな体】

児童：「早寝・早起き・朝ごはん」に気をつけて生活している。

保護者：家庭では、早寝早起きなどの基本的な生活習慣を身につけられるよう働きかけている。

教職員：学級活動などを通して、早寝早起きなどの基本的な生活習慣の大切さについて指導している。

早寝早起きなど生活習慣身についているか

対象	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
児童	50%	45%	5%	0%
保護者	88%	10%	2%	0%
教職員	100%	0%	0%	0%

児童：家の人とスマホやゲームのルールを決めて、長時間使い過ぎないようにしている。

保護者：家庭ではゲーム、スマホ等の使い方やルールについて話し合う機会を設けている。

教職員：ゲームやスマホを使う際のルールや、長時間使用することの心身への影響などについて情報モラル教育等を通して指導している。

ゲーム・スマホとの付き合い方について

対象	黒塗り	点線	白
児童	50%	25%	25%
保護者	55%	25%	20%
教職員	50%	30%	20%

【いじめの防止について】

児童：家の人とその日の出来事や学校でのことについて話をしている。 保護者：家庭では、子どもと話す時間を大切にしている。 教職員：子ども一人一人の話を聞いたり、子どもが相談しやすい雰囲気をつくったりしている。	子どもと話すことについて <table><thead><tr><th>対象</th><th>黒塗り</th><th>点線</th><th>白</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>60%</td><td>20%</td><td>20%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>70%</td><td>15%</td><td>15%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>65%</td><td>20%</td><td>15%</td></tr></tbody></table>	対象	黒塗り	点線	白	児童	60%	20%	20%	保護者	70%	15%	15%	教職員	65%	20%	15%
対象	黒塗り	点線	白														
児童	60%	20%	20%														
保護者	70%	15%	15%														
教職員	65%	20%	15%														
児童：先生にいろいろなことを話したり、相談したりしている。 保護者：保護者と教職員との連携ができています。 教職員：適時、適切な方法で、教職員と保護者の連携ができています。	児童・家庭・学校のつながりについて <table><thead><tr><th>対象</th><th>黒塗り</th><th>点線</th><th>白</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>40%</td><td>40%</td><td>20%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>50%</td><td>30%</td><td>20%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>30%</td><td>50%</td><td>20%</td></tr></tbody></table>	対象	黒塗り	点線	白	児童	40%	40%	20%	保護者	50%	30%	20%	教職員	30%	50%	20%
対象	黒塗り	点線	白														
児童	40%	40%	20%														
保護者	50%	30%	20%														
教職員	30%	50%	20%														

【学校独自の取組】

児童：環境にやさしい行動をしている。

保護者：家庭では、環境にやさしい生活を意識するよう働きかけている。

教職員：全教育活動を通して、子どもが環境にやさしい行動をとることができるよう工夫している。

環境を大切にする姿

児童

保護者

教職員

0%

20%

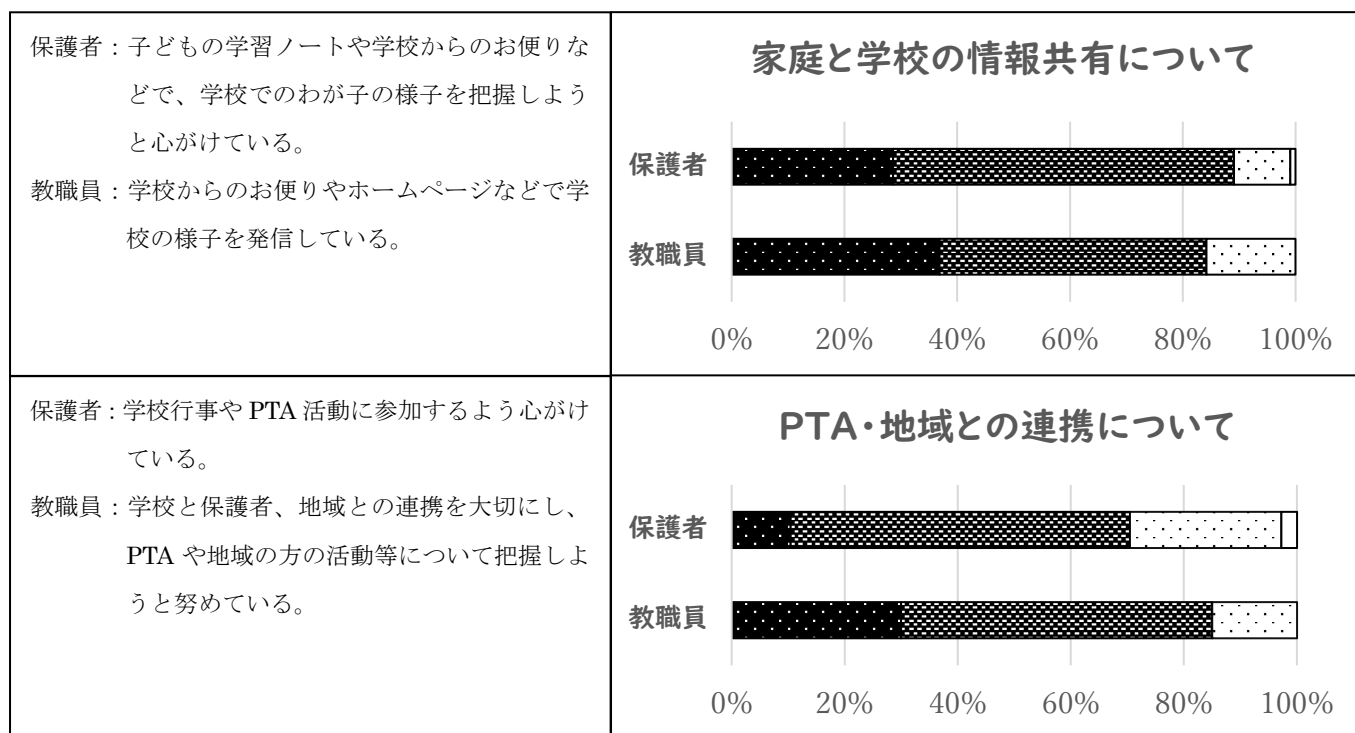
40%

60%

80%

100%

よくできている
 だいたいできている
 あまりできていない
 できていない



【全体を通して】

全体的な傾向として、「よくできている」と考えている児童の割合が高く、それに対して保護者や教職員は「だいたいできている」と回答している割合が高くなっています。「がんばっている」という自己評価が高い児童と普段からの様子を見て「もうちょっとできるのでは」と考えているのが保護者や教職員であると言えます。

【主体的に学習に向かう姿・話を聞く、考えを伝える姿】

どちらの項目とも90%以上の児童が肯定的な回答をしており、さらに50～60%が「よくできている」と答えています。保護者も85%以上が肯定的な回答です。児童の多くが自ら意欲的に学習に向かい、友達の話の聞いたり、自分の考えを伝えたりしていると感じていることはうれしいことです。朱四校では、毎日の授業において、学習課題（めあて）に応じた「まとめ」と「振り返り」を行うことを意図的に取り入れ、自分の学びを認識するとともに、次の学習意欲へつなげることを大切にしています。また、友達の話の聞き、自分の考えを伝えることは生きていくうえでとても重要なことです。そのためには、まず自分の考えをしっかりとつことが必要です。そこで授業では、伝え合う活動の前に考えをまとめて書く時間をとるようにするほか、構成メモをもとに文章を考えたり、モデル文を参考にして書いたりして自分の考えを整理するようにしています。書いたものをもとに話をするすることで、自分の考えと同じところや違うところを見つけたり、考えを広げたり深めたりすることを目指しています。そして、授業で培った力が生きる力として身につくことを願っています。

【学校に楽しく通う姿】

児童、保護者共に9割以上が肯定的な回答をしており、学校としてうれしい限りです。少しでも100%に近づくことを目指し、楽しく学校に通っているという児童の実感が増えるように取り組みたいと思いま

す。さらに友達と一緒に話し合ったり活動したりする楽しさや「分からないことがわかるようになった。」
「初めてできるようになった。」といった達成感や成就感を味わうことで楽しさの質の向上も目指したいと
思います。

【読書に取り組む姿】

「読書をする事」に関して他の項目より肯定的な回答の割合が低く、できていないと考えている児童
が多い結果になりました。保護者も肯定的な回答の割合が低く、本に親しむように働きかけができていな
いと考えられている方が多い結果でした。家では、読書以外にすることがたくさんあり、このような結果
になっているのではないのでしょうか。読書は、知識を広げるだけでなく、豊かに想像する力を育み、思考
力や判断力を養います。学校では一人一人がP T Aより寄贈していただいた図書バックを机の横に掛け、
すぐに読書が始められるようにしています。また、学校司書による読書指導を行ったり、朝の読書タイム
や読書週間、読書100冊などの取組を実施したりして、本に親しむ機会や環境を作っています。賛助会
の方々による読み聞かせもあります。過ごしやすい季節、読書の秋です。学校から読書の大切さについて
発信していきたいと思います。ご家庭でも家族で読書タイムなどはいかがでしょうか。

【あいさつをする姿】

児童の約9割が肯定的な回答をしています。しかし、保護者の方の肯定的な回答は、7割未満しかなく、
児童と保護者との回答に開きがあります。また、教職員の肯定的な回答が100%になっています。これは、
児童は自分であいさつをしていると思っており、学校や教室内ではあいさつをしていると教職員はとらえ
ていますが、家庭で身近に接しておられる保護者の方は、まだまだであると感じられているということ
です。実際、毎朝の登校時や廊下で出会った時などに自分からあいさつをする児童もいれば、こちらから
あいさつをしても下を向いて元気のない児童もいます。「一日の始まりはあいさつから」という言葉を耳に
することもあります。元気な気持ちのよいあいさつは、自分も相手も明るい気持ちにしてくれます。また、
コミュニケーションの上でもとても大事な要素をもっています。各学期の初日には、P T Aの役員の方々
もあいさつ運動をしてくださっています。一人一人が自分から明るいあいさつができるように学校・家庭・
地域の人々で見守りたいと思います。ご家庭からも笑顔で送り出していただければと思います。

学校評価アンケートをうけて、朱雀大路コミュニティ理事会で話し合いを行いました。

本校では、地域の方・保護者の方・学校教職員で組織された学校運営協議会を毎年行い、「どのような子
どもを育てていくか」「そのために何ができるか」を考え話し合っています。学校運営協議会のことを本校
では「朱雀大路コミュニティ」と呼び、先日、理事会を行いました。学校評価アンケートをもとに、子ど
もたちについて話し合いました。そこでは、学習のことだけでなく、児童会活動などで活躍する子ども
たちのことや読書活動のこと、子どもたちの心やあいさつのこと、学校環境、評価項目などについてご意見
をいただきました。今後も学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみであかしや教育を推進していき
たいと思います。

なお、今年度もアンケートの自由記述欄に、学校の取組や学習などについてご意見をいただきました。それ
ぞれのご意見を真摯に受け止め、今後のあかしや教育に活かしていきたいと考えております。